

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ワコーレ明石市本町2丁目	階数	地上15F 地下0F
建設地	明石市本町2丁目6番7	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	151 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2021年7月15日
敷地面積	515 m ²	作成者	大土呂巧建築設計事務所
建築面積	308 m ²	確認日	
延床面積	3,806 m ²	確認者	



ください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.7

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 周辺環境との調和を考慮し、配置計画、植栽計画、色彩計画を行いました。 また、プライバシーと防犯性に配慮するなど、居住者に住みやすい環境を整えるよう努めました		その他 特にありません。
Q1 室内環境 限られた条件の中でも、人が快適と感じられるよう工夫しました。	Q2 サービス性能 可能な限り性能を高めるよう努力しました。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を可能な限り設ける等の配慮をしています。
LR1 エネルギー エネルギーの使用の合理化に関する法律の基準に照らし、エネルギーを過剰消費しすぎないよう配慮しています。	LR2 資源・マテリアル 節水型水栓・節水型便器等を採用するなど、環境負荷が低くなるよう努めました。	LR3 敷地外環境 看板照明等の過剰な照明を採用しない等、周辺環境へ気を配った計画としています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される